

## 農業B

〔例題1〕 植物の結実に関する表の空欄ア～オに該当する語の組合わせとして妥当なのはどれか。

日長感受性	作物の事例
長日植物	コムギ、 <input type="text" value="ア"/>
短日植物	イネ（晩生品種）、 <input type="text" value="イ"/>
中性植物	イネ（早生品種）、 <input type="text" value="ウ"/>

生殖様式	花粉媒介者	作物の事例
自殖性	不用	ナス、 <input type="text" value="エ"/>
混殖性	昆虫	<input type="text" value="オ"/>
他殖性	風	とうもろこし

- | ア       | イ   | ウ    | エ    | オ    |
|---------|-----|------|------|------|
| 1. ダイコン | キク  | ダイズ  | エンドウ | ナタネ  |
| 2. ダイコン | キク  | エンドウ | ダイズ  | ナタネ  |
| 3. ダイコン | ナタネ | キク   | ダイズ  | エンドウ |
| 4. ダイズ  | キク  | エンドウ | ダイコン | ナタネ  |
| 5. ダイズ  | ナタネ | エンドウ | ダイコン | キク   |

【正答2】

## 農業B

〔例題2〕 イネの耐倒伏性に関する次の文章の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

イネの耐倒伏性は、草丈が〔ア〕ほど、そして稈が〔イ〕ほど高い。〔ウ〕は、稈は細いものが多いが、稈長は短くて1株の稈数が多いために倒れにくく、耐倒伏性が高い品種が多い。〔エ〕は、稈は太いが長く、穂が重いために倒れやすい品種が多い。

	ア	イ	ウ	エ
1.	高い	太い	短稈穂数型品種	長稈穂重型品種
2.	高い	太い	長稈穂重型品種	短稈穂数型品種
3.	高い	細い	短稈穂重型品種	長稈穂数型品種
4.	低い	太い	短稈穂数型品種	長稈穂重型品種
5.	低い	細い	長稈穂重型品種	短稈穂数型品種

【正答4】

## 農業B

〔例題3〕 野菜の施肥に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 施された窒素肥料は、硝酸態窒素に変化して雨水によって流失しやすくなるため、ふつう、すべて追肥として施す。
2. カリは、一時期に多量に施すと雨水によって流失したり、必要以上に吸収されたりしやすいので、数回に分けて施す。
3. リン酸は、作物の生育後半の施用効果が高いことや土壌中での移動が少ないため、追肥中心に施す。火山灰土のようにリン酸の固定が起きやすい土では、堆肥と混ぜて施す。
4. カルシウムは、土壌酸度の矯正もかねて、土壌中の含量が適量になるようにすべて追肥として施す。
5. 微量元素の欠乏がみられるような土壌では、すべて追肥として施す。

【正答2】

## 農業B

〔例題4〕 飼料の栄養価に関する次の文章の空欄ア～ウに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

飼料の栄養価として日本で最も広く使用されているのは、である。この値が高いものほどその飼料のエネルギー含量は高いと評価され、次の式で求められる。

$$\text{ (\%)} = \text{可消化粗タンパク質} + \text{可消化粗脂肪} \times \text{} + \text{$$

	ア	イ	ウ
1. TDN		2.25	可消化炭水化物
2. TDN		2.25	可消化繊維
3. TDN		5.52	可消化炭水化物
4. FCM		5.52	可消化繊維
5. FCM		2.25	可消化繊維

【正答1】